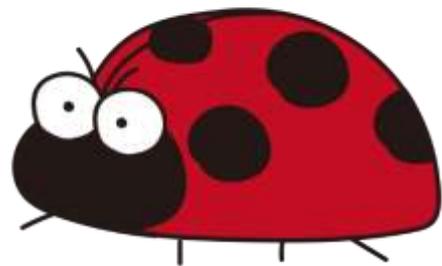


5月18日（土）てんとう虫

夏なつが近づちかいてきて、たくさんむしの虫が張はり
切きって生活せいかつするようになりました。



てんとう虫むしもよく見みますね。ところで、
なぜ、てんとう虫むしはあんな派手はでな背中せなかなので

しょうか。赤あかに黒くろ、すぐに見みつかってしまおもうと思うのです。

多くおおの虫むしは、土つちや草くさと同じおなような色いろをしています。

見みつかりにくいように、敵てきから命いのちを守まもるためなのです。

てんとう虫むしが派手はでな色いろをしているのは、理由りゆうがあるのです。

てんとう虫むしは、危険きけんを感じかんると、足あしから液えきを出だします。それが黄色きいろくていやにおな匂においなのです。この匂においが、小鳥ことりにとってはとてにおもいやな匂においなのだそうです。

つまり、てんとう虫むしも命いのちを守まもるために、派手はでな背中せなかだとい

うことです。わざと小鳥ことりに見みつかりやすいような色いろをして、

近づちかいてくると、いやにおな匂においを出だす。「私わたしに近づちかくと、こん

ないやな匂においが出でるんだぞ！」と、あえておし教おしえているのです。

そうすれば、もう近づちかいてこないということです。

小さな虫ちいにも、自分むしの命じぶんを守いのちるいろんまもな工夫くふうがあります。

調しらべてみると、おもしろいですね。

村越 新